

『春、美しいと思う心を大切にしてほしい』

北海道おといねっふ美術工芸高等学校長

伊藤良平



春は私たちに多くのすばらしいものをもたらし、「美しい」という言葉がよく使われますが、何を見てそう思うのでしょうか。

音威子府村は、自然豊かな美しい村です。北海道内で最も人口の少ない村（2016年3月末現在744人）です。道北の旭川市と稚内市の間にあり、東は枝幸町、西は中川町、南は美深町、北は中頓別町に接しています。天塩川が南から流れ、西へと向きを変えて村の中を流れています。

村内の音威富士(439m)は、スキー場として人気を集めています。ゲレンデは、全長800mの初級コースや中級コースがあり、国道からも近く、手頃に楽しめるスキー場です。

また、おといねっふ美術工芸高校は、村の中核となる学校で、校内には美しい工芸作品や美術作品等が展示されています。

1950年に北海道名寄農業高等学校音威子府分校として開校し2002年に現校名に改称されました。国立教育政策研究所教育課程研究指定校として美術教育を研究するとともに、東海大学との高大連携事業やスウェーデンとの国際交流活動等の特色ある学校です。

音威子府村の総人口の約20%が高校の生徒・教職員などで、村そのものを支えています。村は、音威子府村の総合戦略において、高校の振興を一番に掲げ、「村は高校とともに生きる」と言っています。

確かに自然や作品の美しさは、見る人に感動を与えます。天塩川、音威富士等は村の人の心をなごませてくれます。本校の美しい工芸作品や美術作品等の美しさは、見る人の心を和ませてくれます。しかし、「美しい」という言葉は、「きれいだ」「立派だ」の意味もありますが、「美しい心」等のような使い方でも内面的な状況を表すときにも用いられます。

本校の生徒は、全員（116名）が村以外の中学校出身で、村の支援をいただきながら、寮に入り地域の人たちに育てられています。生徒は、住民票を音威子府村に移すことが義務付けられており、入学と同時に村民の一人となります。村民運動会にも村の一員として参加し、村民に対しても日常的に挨拶が行われています。

部活動ではクロスカントリースキー部が全国高等学校スキー大会で2連覇するとともに、美術部、工芸部も高文連、道展等に入選するなど活躍しています。学校祭等の行事においても生徒達は一生懸命に取り組んでいます。

村の人たちは、いつも生徒たちに様々なことをやさしく教えてくれるとともに、どんなときも生徒たちを暖かく応援してくれています。

人が「美しい」と感じるのは、何かに夢中になっている人の姿とともに、何気ない心のふれあいにあります。

スポーツなどで必死に走っている姿を見るとき、授業などであきらめずに作品等をつくる姿を見るとき、誰かのために一生懸命に尽くす姿を見るとき、どれも美しい姿です。そして、他者を認め、そのことを素直に言える心が真の「美しさ」ではないでしょうか。本校の校名の中の「美」という文字の中にもそのような意味が込められていると思います。

美しい村で美術工芸を学ぶ生徒たちには、春の訪れとともに「美しいと思う心」を一番大切にしてほしいです。



天塩川（4月11日撮影）



音威富士スキー場（4月11日撮影）

学校だより

No.1

平成28年4月28日発行



PTAの皆様へ

『よろしく願いいたします。』

北海道おといねっふ美術工芸高等学校PTA会長

志村正美

春が来るのが遅いこの音威子府にもようやく春の兆しが見えてきました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

保護者の皆様方におかれましても心よりお祝い申し上げます。4月9日の入学式から半月ほどがたち、学校や寮生活にも徐々に慣れてきた頃だと思えます。これからの人生の中でも大切な高校3年間をおといねっふ美術工芸高校で、大いに楽しみ、そして将来の友となる仲間たちをたくさん作っていただきたいと思えます。

また、2年生、3年生になりました皆さんもご進級おめでとうございます。

2年生は後輩ができた事により、上級生としての自覚をもち、充実した1年間を過ごしていただいたと思います。3年生は最高学年ですね。卒業後の進路について、皆さんそれぞれ頑張っている事だと思います。悔いのない最後の1年間をすごしていただきたいと思えます。

最後になりましたが保護者の皆様、教職員の皆様には、これからもご指導ご協力を仰ぎながらまた1年間子供たちのために頑張っていきたいと思えますのでよろしく願いいたします。

行事予定

5月

- 8日（日）帰寮
- 9日（月）全校集会
- 10日（火）歯科検診
- 11日（水）内科検診（2年）心電図検診（1年）
- 13日（金）第1回公務員模試
- 14日（土）新入寮生歓迎会
- 17日（火）生徒総会
- 18日（水）内科検診（1年）尿検査（1次）
- 20日（金）～22日（日）高体連集約大会
- 26日（木）寮避難訓練
- 30日（月）進路講話（3年）

6月

- 1日（水）～3日（金）宿泊研修（1年）
- 3日（金）第2回公務員模試
- 4日（土）寮レク（3年）
- 10日（金）～12日（日）木の手づくり展（旭川）
- 11日（土）寮レク（2年）
- 16日（木）地区別懇談会（音威子府）
- 17日（金）漢字検定
- 18日（土）地区別懇談会（札幌）
- 19日（日）地区別懇談会（旭川）
- 23日（木）～27日（月）前期中間考査
- 24日（金）避難訓練

7月

- 1日（金）第3回公務員模試
- 3日（日）村民運動会
- 23日（土）～24日（日）学校祭
- 26日（火）帰省日 三者懇談会（音威子府）

教務部より

『我以外皆我師』

教務部長 吉田 香織

日曜の朝、息子が見ていたテレビ番組の中で、ある小学生に「将来何になりたいの？」と尋ねたところ、その子は「ユーチューバー（Youtubeの広告収入で収入を得ている人）」と答えていました。トップクラスのユーチューバーは年収一億円以上とも言われています。

また、先日の始業式でも、ニューヨーク市立大学キャシー・デビッドソン教授の、「2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」という言葉が話題になりました。

大きく変化する社会で生きてゆくためには、高校でどんな学習を通し、どんな力を培うべきでしょうか。答えは一つではありません。

立場や考え方、生活習慣の異なる人々を理解し、違いを尊重しながらも、協力して課題解決にあたる力。溢れる情報の中から、正しいものを見極め判断する力。高齢の方々や障害のある方々などに寄り添い、尊重しようとする態度やスキルなど。どれも大切な力です。そして共通して言えるのは、「これさえやればこの力がつく」という単純なものではないということです。

吉川英治は「吾以外皆吾師」という言葉を残しています。自分以外の人や物は皆、自分に何かを教えてくれる先生だという意味だそうです。生徒の皆さんが学校生活・寮生活そして帰省中も、あらゆる場面から学びを得て、逞しく成長するためには何が必要か考え、私自身も努力を重ねてゆきたいと思います。生徒の皆さん、受け身にならず、あらゆる場면을学びの機会と捉え、自発的・積極的に学習しましょう。また、教育の効果を一層高めるためには、保護者や地域の皆様、そして学校が同一の方針のもと協力することが重要です。本年度もどうぞご理解とご協力をお願い申し上げます。

生徒指導部より

生徒指導部長 棚橋 栄治

新学期を迎え、新たに新入生40名が加わり、116名での学校生活が始まりました。それと同時に116名での寮生活も始まりました。それからもう一つ、一人一人の音威子府村民としての生活も始まりました。

1年生については、これから3年間続く学校での生活、寮での生活、村での生活に、誰もが不安を感じ、この3週間足らずの生活の中でも、多少なりとも不満を感じているものと思います。2年生や3年生は、そんな不安や不満を、自ら、そして時には仲間と力を合わせて、解決するための努力や工夫を積み重ね続けています。1年生の皆さんは今回の帰省期間に、中学校での生活や自宅での生活、生まれ育った町での生活と、この音威子府の生活の明らかな違いを感じとり、帰寮後の生活に対する心の準備を今一度し直して、元気に帰って来てもらいたいと思います。

保護者の皆様におかれましては、送付文書にあります「長期休業中の心得」にしっかりと目をとおしていただき、お子様の健康安全に十分なご配慮をいただきたいと思っております。

進路指導部より

進路指導部長 碓矢 真由

新入学、進級おめでとうございます。この春休み中にはみなさんそれぞれ、今年度の抱負や決意を知識や技術といった裏付けが必ずあるものです。しかしただ単に「それだけ」ではなく、それ以外の要素も重要です。

私の大事にしている言葉でこんな言葉があります。（以下、ティナ・シーリング著『20歳のときに知っておきたかったこと』より抜粋）「運のいい人たちは、未知のチャンスを歓迎し、経験のないことにも積極的に挑戦します。よく知らないジャンルの本を積極的に読み、あまり知られていない場所を旅し、自分とは違うタイプの人たちと付き合おうとします。意外ではないのですが、運のいい人たちは、どちらかと言えば外交的です。人と会うときは、相手の目を見、笑顔もたやしません。だから、いい人との出会いがあり、出会いの輪も広がります。それによってさらにチャンスの扉が開かれます。」そう考えると進学も就職も、ただ単に勉強だけを頑張ればいいのか、美術工芸しか一所懸命やらないとか、「それだけ」という事ではないのです。努力の範囲を勝手に決めつけて可能性を狭めてはいけません。

大切なのは目の前の事に夢中になって精一杯努力する事。そして未知の事に興味を持ち、人との関係性やつながりを大切にすること。それらを「楽しむ」事。おと高で自分に磨きをかけて、夢を楽しみましょう。

【着任者】

伊藤良平	校長先生	北海道札幌工業高等学校から
大原一毅	先生	石川県立宝達高等学校から
三谷佳典	先生	摂津市立第四中学校から
須藤由希子	先生	北海道有朋高等学校から

【編集後記】

新入生が40名入学し、4名の先生が着任され、平成28年度がスタートしました。

今年度も多くの方々のご理解とご協力、多大なるご支援をよろしくお願いいたします。